

総務・企業常任委員会 県外行政調査

1 調査日 平成26年11月5日（水）～7日（金）

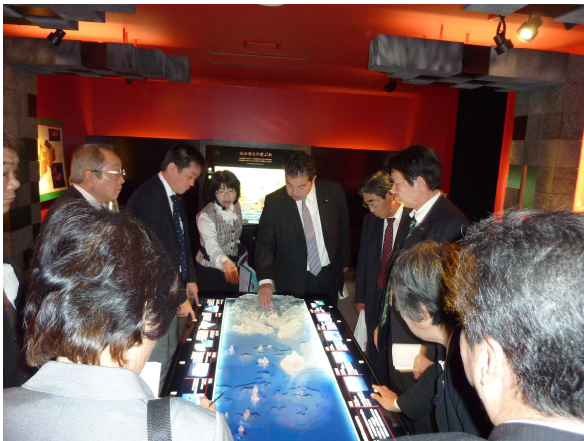
2 調査の概要

11月5日（水）

（1）鹿児島県防災研修センター（鹿児島県始良市）

鹿児島県では鹿児島県地域防災計画を策定し、風水害等の自然災害発生時の応急対策に備えるための施策や、県民の防災活動を促進するための施策など各種施策を推進されている。

鹿児島県防災研修センターは、防災に関する教育・研修や情報提供などを行うことにより、県民の防災意識を高めるとともに、自主防災組織の結成を促進し、その活動を充実させることを目的として、設置されている。



当研修センターにおいては、自然災害等による被害を防ぐため、県民一人ひとりが災害や予防対策に関する知識を身につけるとともに、大規模な災害が発生した時には、地域全体の安全を守るために地域住民が互いに協力した組織的な対応を図ることが必要との認識のもとで防災意識の醸成を図るため、各種研修会や訓練等が行われている。

そこで、本県の防災施策の参考とするため鹿児島県防災研修センターの施設および業務の概要や、鹿児島県での災害に対する取り組みについて調査を行った。

11月6日（木）

（2）いちき串木野市議会（鹿児島県いちき串木野市）

いちき串木野市は、川内原子力発電所の立地する薩摩川内市の隣接市であり、市の全体は川内原子力発電所から半径30km圏内に位置している。

当市では、平成24年3月に「いちき串木野市原子力災害対策暫定計画」を策定するとともに平成26年5月には原子力災害にかかる市民等の避難および防護措置について定める「いちき串木野市原子力災害住民避難計画」を策定し、原子力防災の取り組みが進められている。

そこで、本県の施策の参考とするため、いちき串木野市で行われている原子力防災についての各種取り組みについて調査を行った。



（3）川内原子力発電所（鹿児島県薩摩川内市）

九州電力株式会社が設置する川内原子力発電所は、鹿児島県薩摩川内市の海岸部に位置し、2基の軽水減速・軽水冷却加圧水型の原子炉を備えた原子力発電所である。

九州電力株式会社は、川内原子力発電所1号機および2号機の再稼働に向け、原子力規制委員会の新規制基準の適合性審査を受けるため平成25年7月に原子炉設置変更許可、工



事計画認可および保安規定変更認可の申請が行われ、このうち、原子炉設置変更許可申請について、平成 26 年 9 月 10 日に原子力規制委員会より許可が行われたところであり、工事計画認可申請および保安規定変更認可申請については現在、引き続き原子力規制委員会において審査が行われているところである。

そこで、現在、原子力規制委員会において新規制基準適合性にかかる手続、審査が行われている川内原子力発電所において再稼働に向けて講じられている安全対策等の各種取り組みについて調査を行った。

11月7日（金）

（４）ボートレース福岡（福岡県福岡市）

ボートレース福岡は、昭和 28 年 8 月に設置され、同年 9 月から開催されている福岡市の中心部に位置する都市型ボートレース場である。

当ボートレース場は、福岡市および福岡都市圏広域行政事業組合により運営されているが、競艇事業の売り上げについては減少傾向にあることから、収益の確保、向上を図るため、他場主催レースの受託発売や、イベントの開催、団体ツアーの受け入れ等を通じ、新規ファンの獲得や、誘客促進に取り組まれているところである。

そこで、本県の競艇事業の参考とするためボートレース福岡の施設および業務の概要や運営状況等について調査を行った。

